

平成26年度始業式（H26. 4. 8）

○ はじめに～終業式（3／20）を振り返って

・安積での3年間の勉強が、君たちの長い人生を支えていくことは確かだということ。

（更に言うならば、安積の精神・スピリットを意識して仲間と共に安積の時間を過ごしていく内に、他の高校では見られない安積独特の発酵現象が起こり、自分にも先生にもよくわからない不思議なもの、大げさに言えば生涯効き目が続く安積ブランドの酵素のようなものが安高生の中に醸し出されるのではないか、と私は考えている。）

・勉強は苦しいけれど楽しい、次第にわかっていくのは楽しいがやっぱりつらい。

・努力をしていない、或いは努力が足りない生徒が例年より多いのではないかという声を聞く。

「僕は、私は、やればできるんだ。今はまだやっていないだけ」という考え方は非常に危険。高校時代の時間の密度は、長い人生の中でも最も濃いはず。密度が薄い、低いと思った生徒諸君は、今日から、今から、始めよう。何度も話しているが、目標が少しでも早く固まり、それに向かって一日でも早くスタートできれば、必ず目標に到達できる。

・劫初（ごうしょ）よりつくり営む殿堂に われも黄金の釘一つ打つ
与謝野晶子

○ 3年生（128期）は最終学年。紫の学年章に心を引き締めた経験君たちにとっては2回目の紫旗祭、しかも130周年。

その分、学習時間が減るかもしれない。今からしっかりと進路目標を定め、準備すべきことをしっかりと準備することが大事。

○ 2年生（129期）は中堅学年としての強い自覚を。

130周年を、2年生で迎えられることは幸せなこと。

○ 高く掲げた目標に対する思いが強ければ強いほど、達成可能性は高まる。君たちには力がある。ただし、高く掲げた目標に辿り着くためには、条件がある。そして、その条件のベースにあるのが人間性であり、謙虚さと誠実さが肝要。

○ 以上、述べてきたことを総合すると、

川はいつも流れていなくてはならぬ	継続
石は転がり続けなくてはならぬ (like a rolling stone)	
頭はいつも冷えていなくてはならぬ	冷静さ・集中
目はいつも澄んでいなくてはならぬ	謙虚・誠実・純粋
心はいつも燃えていなくてはならぬ	志を達成する強い気持ち